

～ Smile いっぱい！かがやく湯江っ子のために ～

SCRUM

島原市立湯江小学校
学校だより No.26
令和6年12月24日(火)
文責：校長 大槻浩二

実り多き2学期でした！

78日の2学期を終え、本日終業式を迎えました。学期末にインフルエンザの流行により学年閉鎖がありましたが、それほど広がらず、安心しました。

2学期は、机上での学習をより確かなものにするため体験的な行事が多く、宿泊体験学習・修学旅行・各学年の学習遠足・各学級部会活動の様々な活動など、充実した深まりのある教育活動が実施でき、実りのある2学期となりました。

今年度のテーマである「Smile & Power up」が子どもたちや保護者の方々にも浸透し、子どもたちの成長とともに Smile の花がたくさん咲きました。

授業参観や各学級部会活動においても親子で取り組む内容が多く、学校の教育活動をさらに高める取組でした。ご支援とご協力に感謝申し上げます。

冬休みに向けて下記の3つの約束をしました。

- ①自分の命は自分で守る
- ②冬休みの宿題は必ず終わらせる
- ③新年の目標を決める

安心安全で充実した冬休みとし、新年と3学期を迎えられるようご支援とご協力をお願いいたします。

みな様、よい年をお迎えください。



2学期がんばったこと！

わたしが、2学期がんばったことは、三つあります。一つ目は、習い事のそろばんです。かけ算が苦手だったいへんだったけど、練習してできるようになったのでうれしかったです。二つ目は、九九チャレです。四の段が苦手だったけれど、学校の帰り道に言いながら帰ったり、おふろで練習したりしたので、どんどんできるようになりました。できるようになったので、九九チャレの一枚目から四枚目まで進むことができましたし、一番最初に全部合格してうれしかったです。三つ目は、体育の鉄棒です。逆上がりが苦手だったので、体育のときに、いつも逆上がりを練習しました。練習すると上手になって、連続逆上がりにも挑戦しました。校長先生とも一緒に、何回も練習しました。そして、最後に何回か練習したら、こつがつかめて、どんどんできるようになりました。三学期は、苦手なテストのときも、毎回、百点をとれるようにがんばりたいです。

二年 高木 空

※二年生、二名の終業式での発表を紹介します。
二学期をふりかえって、自分の成長をしっかりと発表することができました。

二年 吉本 唯乃

わたしが、二学期がんばったことは、三つあります。一つ目は、かけ算です。はじめは七の段と八の段が言えませんでした。でも、たくさん練習したからうまく言えました。たくさん練習してよかったなあと思いました。

二つ目は、ダンスの発表会です。最初は、うまくできませんでした。でも、家でダンスの練習の時の動画をテレビに映して練習したら、二回目のダンスの発表会では、うまくダンスをおどれたのが、うれしかったです。

三つ目は、持久走大会です。順位は、下がったけれど一年生の時のタイムより、二年生のタイムの方が速かったのでうれしかったです。

三学期にがんばりたいことは、算数の「千より大きい数」です。どうしてかと言うと、算数のことをもっと知りたいからです。

赤い羽根共同募金
ありがとう
ございました！



「すごいね」というひと言で

子どもの自信は生まれる。

二学期は、授業日数が一番多い学期。

子どもたちは、たくさんの行事や体験で学び、経験を積みながら、自分をパワーアップできた。この時期は、学びのまとめ、自分を振り返り、成長を実感する貴重な時期だ。

教師としてこの時期は、評価をしながら自分の授業や指導を振り返る。「この問題ができなかったのはなぜ?」とか、「もう少し復習させればよかったな」とか。

通知表の所見を書きながら、「〇〇をがんばっていたな」とか「〇〇のところが成長したな」とか、一人一人を思い浮かべながら、ほんの数行にしか表せない言葉に想いをのせる。

時間をかけ、手間をかけ、心をかけ、眠い目を擦り、時折思い出し笑いをしながら…。

反省と苦しい時間でもあるが、実に愛おしい時間でもある。終業式の教室では、一人一人に手渡ししながら、文字にできなかった言葉と想いを加えたに違いない。

持ち帰った通知表は、時間をかけ、一緒に見ながら、「すごいね」「がんばったね」のひと言をかけてほしい。

その「すごいね」「がんばったね」のひと言から子どもの自信が生まれるのだ。

一年を振り返るこの時期だからこそ、それぞれの成長を自信に変え、新年の新たな意欲としてほしい。

* 年の瀬の渋滞を見ると、この国にはふるさとを大切にしている人が、たくさんいるんだとうれしく思います。渋滞は大変ですが…。冬休みも安心安全を一番に、ステキな貴重な時間を過ごしてほしいです。